令和7年度

社会福祉法人すいよう会 障がい福祉部門 (社会福祉事業)

「多機能型事業所すいよう作業所」事業計画(案) 従たる事業所「陽だまり」

1. 運営方針

- ① ご利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って福祉サービスを提供する。
- ② 事業所は、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、福祉サービスを提供する関係機関等と連携及び協力を行い交流に努める
- ③ 正当な理由なく利用申し込み者に対して事業所サービスの提供を拒否しない

2. 事業目標

① 就労継続支援 B 型事業 定員13名

働く喜び

得意とする作業内容 の提供および役割や 達成感を共に感じる 工賃向上

作業料金の見直し、コストの削減を意識しながら 工賃向上に努めていく 一般就労

可能な限り一般就労に 挑戦していく

意思決定

ご利用者一人一人の思 いを汲み取りながらサ ービスの提供に努める 関係機関との連携

仕事面や生活面に関して 関係機関と連携しながら 情報共有し必要なサービス を提供していく 共同受注

市内の就労系事業所と 共同で作業に取り組む システムを構築してい く

② 生活介護事業 定員27名(主たる19名 従たる8名)

働く喜び

得意とする作業内容の 提供および役割や達成 感を共に感じる 健康

高齢化等に伴い健康観察や服薬確認、体を動かす機会の提供、家庭との連携

活動

ご利用者主体の活動を 計画し、楽しさや生きが いを感じる 障がい特性 特性に応じた日中のえ) サービス提供について 研修・検討していく 関係機関との連携 仕事面や生活面に関して 関係機関と連携しながら 情報共有し必要なサービ スを提供していく 意思決定 ご利用者一人一人の 思いを汲み取りながら サービスの提供に努め る

事業所内外

季節に応じた活動を中心に取り組み、個別の活動も進めていく

地域活動

中郷、神郷地区等、地域との連携協力をしながら取り組んでいく。

各種行事

- ◎ボランティアの受け入れを積極的に行い、障がいの理解啓発、風通しの良い事業所を目指してい く。
 - ④ 個別支援計画について サービス管理責任者を中心にご利用者の特性に応じた支援計画を作成し、実践していく。 また、計画相談事業所とも連携しニーズや必要なサービスの提案等実施していく。
 - ⑤ 職員処遇について
 - ●スキルの向上
 - ○管理職(主任)
 - ・常に全体最適を考慮して判断する
 - ・正確な現状の把握と早期の課題解決を行う
 - ・人間性と専門性の向上に努め、分け隔てなくご利用者・職員の状況把握を行う【業務知識・瞬時の判断力・企画力・折衝力・指導力・調整力等】

○職員

- ・ご利用者の特性を把握し、個別対応力・・自ら率先する行動力
- ・担当業務を熟知する
- ・担当業務以外も臨機応変に対応する
- 【行動力·業務知識·判断力·協調性·責任感·規律性】

○スキル向上に向けた取組

マイケアプランの作成 一年間の自己目標を設定し自己研修に努める

チーム力の強化 職員全体が臨機応変に 対応する適応力を向上 していく

健康面 自己の体調管理を行う とともに、有給が取りや すい職場環境

職員面接

年3回の個別職員面接を実施。その際、各職員の考え方や現状について把握し、各職員からの提案や改善点について聞き取り事業運営に反映。また、自己点検票にて振り返りを実施するとともに、マイケアプランの目標に対する自己評価や達成度合いの見返し。

- ·職員会毎月第3木曜日 常勤職員会 随時 主任会 随時
 - ・虐待防止員会 年4回以上 第1木曜日 その他必要に応じて
 - ・感染症対策委員会 年4回以上 感染症に関する研修・訓練 必要に応じて
 - ・業務継続に係る委員会 それに伴う研修・訓練随時
 - ・生産性向上に向けた各種委員会

障がい特性

- ご利用者の皆様の障がい特性に応じた支援の在り方
- ・強度行動障がい・精神障がい
- ・発達障がい・高次脳機能障がい

制度

- 総合支援法をはじめ各種の法令に関する 見識を深め法令遵守
- · 労働基準法· 食品衛生法等· 消防法
- ·交通安全基本法·道路交通法等

ヒヤリハット・事故等 日常生活上でのリスク等について 研修を重ね職員一人一人の意識向 上に務める

虐待防止

障がい者に対する虐待について

- ・虐待防止委員会
- ・身体拘束適正化委員会の実施

意思決定支援

利用者一人一人の意思決定の支援 に配慮し、意思決定に困難を抱え る利用者の意思及び選好、判断能 力等の把握に努める

業務継続計画 感染 新型コロナ感染症での経験を踏ま え各種感染症や今後新たに発生す るであろう感染症に備えた研修、 訓練を実施する

業務継続計画 災害

平時より災害対策の推進を図りBCPを作成 し研修・訓練を実施していく。また、作業等で 所外に行くこともあるので色々な場面や状 況を想定して研修・訓練を実施する

処遇改善加算取得に伴う生産性向上 職員の処遇や職場環境の見直し、整理整頓 等を向上していくために定期的に委員会を 開催し改善点の拾い出し及び改善策を模索 しより良い労働環境を目指していく

⑥施設整備について

●移転に向けての計画作成

月	6月	7月	8月	9月	10月
指定関係		書類提出			事業開始
建物			完了検査	落成式	
移転				荷物の運搬	
備品関係		必要に	応じて		

(収益事業) 「グループホームすいよう」事業計画(案)

●事業方針

現在、賃貸借契約を取り交わしている「NPO法人まぜ」と連携しながら地域の障がいのある方の生活支援を共有していく。また、ホーム利用の障がいのある方が快適に生活を送れるよう建物の整備等しっかり行っていく。

「ルピナスすいよう」事業計画(案)

●事業方針

入居されている障がいのある方が安心して生活を送れるよう、計画相談事業所、 居宅介護事業所と連携していく。また、作業所のスタッフも定期的に訪問し、日常 生活上の相談等に関して解決していく。 令和7年度 高齢者福祉部門 事業計画(案)

【理念】

「利用者と共に、地域のパートナーとして・・・」

【ミッション】使命

地域の人口減少、労働者不足、介護ニーズの増加(その先にある介護ニーズの減少)、障がい者の増加、子育て支援の強化、その他、時代と共に変化する地域の福祉ニーズに対応する社会福祉法人であり続ける。

【ビジョン】目指すこと

- 1. 住み慣れた地域で、笑顔と感謝があふれる「自分で選ぶ人生」を支援する。
- 2. 深い経験・専門的知識を背景とした理論をベースに、感情にも配慮した合理的な支援を目指す。
- 3. 国の社会保障制度の存続を踏まえた保険制度による支援と、個人のニーズや要望に応じた保険外の支援の組み合わせによる総合的な支援を目指す。
- 4. 前向きに変化に対応できる組織・人材育成を目指す。
- 5. 法人が存続する適正利益を確保し、新たなサービスへの投資を続ける。
- 6. 地域でトップクラスの職員処遇を目指す。
- 7. 絶対的なリーダーに依存しない、考える組織風土を醸成する。
- 8. 人と自然と芸術との共生を目指す。

【バリュー】大切にしたい価値

- 1. 関わるすべての人(利用者、家族、職員、その他)の自尊心・その人が大切にしたいこと・自己選択
- 2. 笑顔
- 3. 感謝
- 4. 違いを知り、違いを認める
- 5. 人生・仕事の成果 = 考え方 × 情熱 × 能力 (プラス思考)
- 6. 自律と自立
- 7. 自発的な努力・成長
- 8. 可能性を信じる あきらめない

【重点目標】

- 1. 職員の継続的な賃上げを実現するために、生産性を向上し、全事業所の黒字化を目指す。
- 2. 介護の専門性は科学的介護推進の柱となっているLIFEに集約されるため、LIFE関連の業務を整理し、LIFE関連業務に携わることで、専門性の向上をはかる。
- 3. 効率的で生産性の高いチームケアが実践できるよう、ベースとなるチーム内の人間関係をより良くすることに努める。
- 4. 定期的な職員面談により、職員が働き甲斐を実感し、個人の目標と組織の目標が連動していることの理解を深める。
- 5. 子育て世代が働きやすい職場づくりの工夫を続け、地域の少子化対策に貢献する。
- 6. 必要な感染症対策を維持しつつ、外部と連携できるよう、新たな感染対策の方法を模索する。
- 7. BCPの実効性を高めるため、定期的な訓練とBCPの見直しを行う。
- 8. 利用者ニーズの分析を進め、効果的で効率的な広報活動を行う。
- 9. 地域包括支援センターブランチ業務と地域密着型サービスの運営推進会議を中心に、地域との連携を深める。
- 10.ICT 機器等の利活用による業務の効率化、ペーパーレス化を推進し、生産性の向上を目指す。

【R7年度 重点取り組み】

- 1. 管理会計による各部署の収支状況の把握と改善
 - ① 管理会計による収支状況の把握(年間最大収入・適正支出等の管理)
 - ② LIFE 関連加算取得要件の整備
- 2. 中堅職員の中途採用に強い人事制度への改定
 - ① 役割等級制度への移行
 - ② 役割に応じた手当の創設

- ③ 同一労働同一賃金の是正
- ④ 限定正職員の処遇明示
- ⑤ 基本給のベースアップ

3. 人事部・広報部の創設

- ① 人事に専任する職員を採用し、採用・人事制度の更新をスピーディーに行う体制を構築する。
- ② 広報部員によるホームページの更新、SNS 等による情報発信機能の強化

4. 次世代リーダーとなる中核職員の新規採用(若干名)

- ① 入所施設の生活相談員
- ② 居宅介護支援のケアマネジャー
- ③ 通所介護事業の生活相談員 兼 現場マネージャー
- ④ 入所・在宅を問わず活躍する看護師、理学療法士、作業療法士

5. 経営が理解できる管理職、次世代リーダーの育成

- ① 自部署の管理会計の担当
- ② 財務・人事に関する理解を深める管理職研修の継続
- ③ R6 年度ディ事業継続相談支援研修 成果の在宅部門への水平展開

6. ICT 機器導入による生産性向上

- ① 県ICT補助金を活用した特養へのICT機器の導入
- ② サ高住入居者の安心・安全を確保するための ICT 機器の選定・導入

7. 技能実習生の受け入れ開始

- (1) ミャンマーから3名。5月以降の受け入れ。
- 3年後、特養介護職員における外国人割合2~3割。6~10名を順次育成。

8. 胃ろう注入・喀痰吸引できる介護職員の育成

① 看多機・サ高住に勤務する介護職員は、原則、全員が対応できるよう育成。 対応できる中途採用者も優遇できるよう配慮。

9. その他

- ① 特養アソカ・なの花の一体的管理に向けての看護・生活相談員業務の整理
- ② 効果的で効率的な法定研修(内部研修)の実施
- ③ 配置基準、加算要件に該当する資格の取得、外部研修の受講
- ④ 特養入所者預り金システムの再考

- ⑤ 外部講師、近隣法人と協力した介護技術研修システムの構築
- ⑥ 新型コロナ感染症対策の緩和
- ⑦ 外部ボランティアとの連携再開・強化
- ⑧ 人件費・食材費高騰に耐えうる給食提供方法の検討
- ⑨ 事務所を中心としたペーパーレスの推進 など

【中•長期計画】

≪2025年~2030年≫

- 次世代管理職、中堅職員の確保・育成。そのための組織風土・仕組みづくり。
- 物価上昇、賃金上昇に耐えうる財務体質づくり(事業の黒字化・利益最大化)
- 市内でトップクラスの職員処遇の実現
- 地域包括ケアシステムの進化・在宅医療充実計画の策定
- ICT 活用により業務効率化、ペーパーレスの推進

≪2030年~2035年≫

- 健全経営による各施設建て替え資金の確保
- 次世代リーダーの育成。事業所管理者への権限委譲の推進。
- 地域包括ケアシステムの進化・在宅医療充実計画の実行。
- 近隣法人の吸収合併の検討

≪2035年~2040年≫

- ○史上最大となる介護ニーズへの対応
- 管理職層の本格的な世代交代
- 2040 年以降の介護事業縮小ビジョンの策定

≪2040年~2045年≫

- 地域における介護事業縮小プロセスの検討
- 高齢者施設 統合計画策定
- ○新たな福祉ニーズへの対応

以上

部門(事業所名): 特別養護老人ホーム アソカ園 令和7年度目標: 1日平均(特養49人、短期13人)

事業計 画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			介護報酬改定に伴う 加算の算定	奥野谷 加藤·柴田 主任	計画	加算関連の見直し	٤	LIFEの運 用										<u> </u>	介護の質向上と収入 UPに繋げる
				リーダー	実施					毎日医療	関係協設	第へ問い会	わせ・入	新由込 確					
			適正な入所検討会の 継続と次期入所者の	奥野谷 柴田·主任		入所検討	(6月・9,	月・12月・ T	3月)	認・面接		4 4100 E	1476 7	<u> Л. Т. Ж. НЕ</u>		1			ベッド稼働率の維持 (特養49人、短期13
			準備	リーダー	実施										marilla et				人)
1		安定運営に向けて	技能実習生受け入れ	奥野谷 柴田·主任	計画	受け入れ 準備	受け入れ	面談					面談		用現地・リ ト面接				技能実習生等、外国人人材の採用による人材
		X CEBICINITY	準備	リーダー	実施														確保
			外国人職員の教育体	奥野谷	計画	外部講師に 技術研修3		内部での介 教育の実施		多·日本語 ₋								-	外国人職員の介護の
			制の確立	柴田・主任 リーダー	実施														質の向上
			ICTによる業務の効率化	奥野谷 柴田·主任	計画	施設見学・介護	機器展参加	補助金申	請準備・見る	積もり作成	オペレーション 見直し検討					補助金交 付決定	ICT導入		業務改善によるコスト
			(見守り機器の導入)	リーダー	実施														削減と業務の効率化
			± .º	主任リーダー	計画	随時、オク	ペレーション	ンの改善、 シ	業務改善									-	業務改善により働き
		Trib 18 78 1 + 7-11	オペレーションの見直し	リーター OP係	実施														ーやすい職場の環境 づくり
2		職場環境作り	職員面接の回数を増 やし、・現状把握・課題	奥野谷 主任	計画	新人面談		面談			面談	1			面談		1	面談	人材育成。やりがい・モ チベーションの向上に
			解決・振り返り・評価・ 目標設定を行う	リーダー教育担当	実施														よる人材確保。介護の質の向上
3			有休消化率の向上	施設長 主任	計画	18日 有休消化	\rightarrow	22日有何	木消化			>	22日有何	木消化 -			15日 有休消化	18日 有休消化	パート、正職員全員
		強品加油のウ L	有	リーダー	実施														7日以上の消化
4		職員処遇の向上	働き方アンケートの実	施設長 主任	計画	アンケート 実施													個人にあった働き方に配慮するジョブ型
7			施	リーダー	実施														雇用の実現
-		チャリケフ	お看取り後のカンファ	ユニット	計画	ユニット会で 実施(偲び)		り後のカンフ ス実施)	ァレンスの						•	•		-	ケアを振り返り、経験 を共有することで、
5		看取りケア	レンスを行い感情の共 有	リーダー	実施														個々の成長につなげる
		± 14 n± 1	事故・ヒヤリハットの収	施設長	計画	毎月施記	设部会に	て集計、	分析、報	告 —	ı	1	ı	ı	1	1	1	-	事故の種類、頻度、時間、職員など、項目で
6		事故防止	集、分析、評価	主任リーダー	実施														の事故分析、事故の減少。再発防止
-		1 1 * * *	法定研修及び勉強会	施設長	計画	感染、事故、 拘束、虐待	プライバシー	看取り	認知症	食中毒	倫理及び 法令順守	•	事故防止	感染症	高齢者虐待	褥瘡	身体拘束	認知症	介護力の向上及び
7		人材育成	の実施	主任 リーダー	実施														┤ご利用者のQOL向 │上

部門(事業所名): 特別養護老人ホーム アソカ園

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(目標達成)
8		行事の充実	コロナ感染対策緩和に応	リーダー	計画	花見 ドライブ	運動会	菖蒲見学 ドライブ	七夕会	花火鑑賞	アソカ 祭り		太鼓祭り 見物	紅葉狩り ドライブ	忘年会 クリスマス	初詣	節分 豆まき	ひな祭り	感染対策を行いながら、 中止になっていた行事の
8		打事の元夫	じた行事計画の作成	行事担当	実施														復活させ、日常と非日常を 感じて頂く。
9			BCPの更新	防災担当	計画	火災訓練	排水溝、 屋上掃除	水防訓練 土のう作り		防犯訓練	地震訓練	•	•		火災訓練	•		地震訓練	災害時の速やかな 行動、減災に繋げ
J			防災訓練の実施	(加藤)	実施														る。 る。
10			感染症対策の通常	奥野谷 看護師	計画	感染:	症対策委員:	会の開催・愿 BC	終染対策の P更新・勉引	見直し・業務 [・] 強会	マニュアルの	D作成 一	_	勉強会					感染対策通常業務 化・マニュアル作
10		心不正乃不	業務化	主任 リーダー	実施														成。更新
							1	1	•		T	1		r	T	1	_		
					計画		ı	ı		I	T	1	1	T	T	ı	,	_	
					実施														
					計画		1	1	1		T	1		r	T	1	_		
					実施														
					計画														
					実施														
					計画														_
					実施														
					計画]
					実施														

部門(事業所名): 訪問介護

令和7年度目標:一月合計(480)時間

事業計 重点目標 実施 ゴール 中間 10月 11月 取組み事項 取り組み内容 4月 5月 6月 7月 8月 9月 12月 1月 2月 3月 評価 との連動 担当者 (目標達成) No. 業務を効率化をし効果の 計画 生活向上委員会の実施(1回/月)職員ミーティング内で行う 評価を行う 生産性向上の為の業 堀川 務改善 実施 月平均480時間の提供時 計画 新規依頼がスムーズになるよう空き情報を毎月ケアマネに送付する。 間の確保 目標値(480時間)へ 堀川 空き情報の送付 の到達 実施 月80時間(4時間×20日) 受け入れできる枠の確保の為、求人募集し増員を図る。それに伴い登録ヘルパーの賃金の見直しを行う。 の提供増目指す。 登録ヘルパーの増員 堀川 実施 身体介護を、需要のあ 食事の時間帯に身体介 計画 身体介護の需要がある食事の時間帯は、身体介護を受けられるように枠を確保する。 護の提供を受けることが る時間帯に受けること 適正収益の確保 堀川 出来る のできる仕組みづく 実施 契約 計画 介護保険では対応できない事を、必要に応じて保険外サービスを行う。 必要時の保険外サー 受診介助 堀川 ビスの提供 実施 適正な利用料金の設定 計画 適正な収入となるよう保険外サービスの利用料金の見直しを行う。 保険外サービス利用 堀川 料金の見直し 実施 自己点検票を使い事業所 事業所の加算等の状 計画 自己点検 の加算の状況の確認 主:堀川 況確認 副:サ責 実施 勉強会の実施 計画 ミーティングによる内部研修 外部研修への参加 介護技術・制度等の知 専門性の向上 介護技術研 修(排泄介 介護技術研 修(入浴介 識の向上 プライバ ハラスメン 緊急時対応 サ責 計画 法令遵守 接遇 感染予防 烈知症 防災(BCP 虐待防止 シー保護 実施 2 人材育成 固別の研修計画に沿った 内部・外部研修への参加 研修の参加 個別の研修計画に 計画 (訪問介護事業所連絡会・ 県社協・ オンライン研修など積極的に活用する) 堀川 沿って介護技術や知 識の向上を図る。 実施 均一かつ適切なサービス 計画 手順書の見直し(計画書更新時・随時) サービスの適正についてミーティングにて検討する(サ責ミーティング) 介護保険更新時・提供 サービス内容の 3 内容と手順書を確 サ責 統一と標準化 認・、修正し共有する。 実施 計画 面談 面談 面談の実施 働きやすい職場 年2回上司と面談を行 堀川 振り返りと目標の設定 環境の整備 う 個別の研修計画の作成 実施

部門(事業所名): 訪問介護

事業計 画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
5		事故防止	事故防止委員会の開催 事故防止の勉強会の実施	児玉	計画	事故	放防止委員	会の開催	(1回/月)	事故	防止の勉引	強会の実施	再多	発防止策の	検討(随時	j) マニ	- -ュアルの <u></u>	· 整備	事故の防止 事故防止策の共有
3		争以则正	再発予防の検討 マニュアルの整備・更新	4	実施								緊急時対応・ 事故防止勉強 会						適切な報連相
6		緊急時対応	緊急時対応の勉強会の実 施利用者宅の緊急連絡先	児玉	計画	緊急	時対応の角	勉強会の実	施	ご利用者!	宅への緊急	急連絡先の	設置•更新	f(担当者会	・ で確認)	マ	ニュアルの	整備	ご利用者の安全 緊急時の冷静な対応
O		系心时 列心	の整備 マニュアルの整備・更新	K.	実施			マニュア	ルの整備					緊急時対応 勉強会					適切な報連相
			感染症予防委員会の開催 感染症予防の勉強会の実	白石	計画	•		感染症予	防委員会の	・ の開催(1回	1/月)	感染症予	防の勉強	会・シュミレ	ノーション訓	練の実施	•	•	感染予防 感染まん延時の冷静な
			施 シュミレーション訓練の実施	Д	実施			勉強会・ シュミレー ション											対応
7		感染対策	日常的な感染対策の	全職員	計画	標	準予防着療	着用を徹底	する	アルコー	ール消毒の	徹底	出勤時の	の体温測定	· : 随	時感染予	防策の更新	f 。	
,		您未为來	継続	土嶼貝	実施														
			感染症まん延時の対	主:堀川	計画	•		•	感染症	· 定BCP(業績	務継続計画	· 回)・マニュフ	アルの随時	更新をおる	こなう。	•	•	•	感染まん延時の業務 継続
			応	副:白石	実施								更新見直し	,					
8		虐待防止	虐待防止委員会の開催 虐待防止の勉強会の実施	堀川	計画		J	虐待防止勢	委員会の開	催(1回/月]) 虐	待防止の	勉強会の乳	に 指	針・マニュ	アルの整備	=		虐待の防止
0		追彻业	ハラスメント等に関する勉強 会の実施	が出り	実施										虐待防止 勉強会	指針・マニュア ルの整備			
9		防災	防災の勉強会の実施 訓練(シュミレーション)の実施	堀川	計画		防災	の勉強会の	の実施	訓練(シ=	ュミレーショ	ン)の実施		Pの作成・	更新(風水	害・地震・火	火災)		ご利用者の安全 緊急時の冷静な対応
g		沙 火	BCPの作成・更新	が出り	実施								防災(BC P) 勉強会						適切な報連相

部門(事業所名): リハステージ郷

令和7年度目標:一単位(半日)平均(12)人

HAI 1/3	A/// L	,, ,, ,,,,	- 14	13 114 7 -	X 11	ж . т		4/ 1 3	` -	//									110.
事業計画 No.	重点目 標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			接遇力向上	A 1744 D	計画					J	職員の接	遇力向上	を目指す。	>					**************************************
			自己評価表の記入	全職員	実施				毎月の	自己評価	に基づき	、目標の	実践・評価	5を繰り返	し行う。				-ご利用者の満足度向上
			各種委員会・研修の実施 各訓練の実施	白石	計画	法令遵守 個人情報	食中毒	災害 BCP	虐待防止 身体拘束	事故防止	認知症		感染 BCP	感染症	虐待防止 身体拘束	事故防止	事業計画	事業実績	専門性の向上
			ミーティングの実施(月1)	各職員分担	実施														災害対策の強化
1		質の高い	マシン・個別メニューの 指導・助言の工夫	全職員	計画		マシ	ンの効果	や助言を	繰り返し	云える。目	標に合っ	た個別メニ	ニューの打	是案・実践	・助言を行	う。		マシン指導力の向上 助言力の向上
'		サービス提供	114 1011011人	工机员	実施														ご利用者の機能維持向上
		•	業務効率化に向けた課題 整理・分析	理事長 白石	計画			(:	生産性向.	上委員会)	課題に優	先順位を	付け、改	善に向け	検討を行う	5.			生産性向上
			改善策の実施	槇 高橋	実施														サービスの質向上
			定期的な運動評価・	全職員	計画			!	体力測定	(3カ月ごと	こ)、インオ	ボディ測定	(年1回)の	り実施・評	価を行う。)	*		
			フィードバックの実施	各担当	実施														-ご利用者の運動意欲向上
			各業務の見直し	白石	計画			Į.	(業務改	善委員会)各業務の) 日的再码	· 在認、方法	の改善を	目指す。	Į.	!		業務の効率化 可視化による認識共有
0		やりがいを持ち 働きやすい	オペレーションの更新	槇	実施														方法統一 方法統一 有効なデスク時間の確保
2		働さるすい 職場環境作り	育成面接	施設長	計画				日々のコ	ミュニケー	·ション・面	i談を通し	て職員の	相互理解	を深める。				人間性の育成
			朝礼講和の回覧	白石	実施			面	接					面	接				人材確保
3		事故·怪我予防	体調異常の早期発見 道具・動きの助言	白石	計画	(事故	攻防止委員	員会)ヒヤ	ツ•事故 <i>σ</i>)検証、再	発予防検	討を行う。	送迎、脱	水、熱中	症、窒息、	ヒートショ	ョック等も含	きむ。	ヒヤリ・事故の分析 - 転倒事故防止
3		学以"注我"》	環境整備 再発予防の検討、助言	高橋	実施														在宅での安全確保啓発
4		感染症予防	感染対策の確認、共有	看護師	計画			(感染	宇予防委員	会)感染	青報の収	集、対策核	食討、予防	i啓発、研	修・訓練を	行う。			感染予防対策の徹底
7		心未证了例	マニュアルの更新・訓練	有疑叫	実施		研修1						マニュアル確認	研修2 訓練					在宅での感染予防啓発
-		#4 # 0 	ご利用者情報の把握	白石	計画		•		ご利用者	情報の更	新·共有	を行い、刺	太急搬送 時	・ ・ ・の対応に	こ備える。		•		緊急時の冷静な対応
5		救急時の対応	救急搬送の手順共有	看護師	実施														適切な報・連・相の実施 ご利用者・職員の安全確保
		身体拘束	委員会設置	白石	計画		I	(身体拘	東予防	虐待防山	委員会	定期的机	な委員会	の開催、	予防周知	で行う。			身体拘束・虐待防止
6		虐待予防	定期的な研修	槇 山田千	実施				研修1						研修2				不適切ケアの未然防止
				白石	計画		毎月、脳	トレ素材を	を選定し、	希望者に	配布でき	るよう準備	を行う。素	長材をもと	にコミュニ	ケーショ	ンを図る。		
			脳トレプリントの更新	鈴木	実施														運動以外の楽しみの提供
		変化のある サービス提供	お茶タイムの工夫	山中	計画				ā	お茶タイムロ	こメリハリを	こっけ、イベ	シトを楽し	んでもらう					季節感や特別感の提供
7		楽しみの提供	歳時・誕生会時に実施	久枝 山田千	実施	花見					月見				クリスマス	正月	節分	雛祭り	楽しい喫茶時間の提供
		•	季節行事を計画	山中 鈴木	計画			季節	ごとの飾り	や案内を持	喝示、ご利	 用者の作品	品展示、情		流の場を何	作る。	•		季節感や楽しみの提供
			壁面飾りの工夫 ご利用者の作品掲示	類不 模 人枝	実施														」学即感や楽しみの提供 ご利用者の意欲向上・交流
l				△		l	l		1	1				l					

部門(事業所名): リハステージ郷 NO. 2

事業計 画 No.	重点目 標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月 (22日)	5月 (22日)	6月 (21日)	7月 (23日)	8月 (21日)	9月 (22日)	中間評価	10月(23日)	11月 (20日)	12月 (20日)	1月 (20日)	2月 (20日)	3月 (22日)	ゴール (目標達成)
0		通所間	各種情報・研修の共有	4.7	計画				1		通所事業	手所の交流		を目指す	0				情報共有、連携
8		居宅の連携	連携•相談	白石	実施														共通資源の活用 学びの共有
			新パンフレット作成	_	計画			現利	川用者の	居宅中心	に情報提	是供機会	を活用し	、新規営	業に繋げ	げる。	I.		空き情報の明確化
			空き状況の発信	白石	実施														事業所の評価向上
			延べ人数の確保	4.7	計画	220	220	252	276	231	264		276	240	240	220	240	264	実利用数1単位12名
			(1単位当たり)	白石	実施														美利用数1単位12名
9		適正収益の確保	延べ人数の確保	白石	計画	440	440	504	552	462	528		540	480	480	440	480	528	1日当たり登録30名
9		過止収金の唯体	(1日当たり)		実施														実利用数24名
			登録実人数の確保	白石	計画	73	75	77	79	81	83		85	87	89	91	93	95	今年度登録95名
			立	п'n	実施														7 汉亚纳00 日
			 新規利用の確保	白石	計画	3	3	3	3	3	3		3	3	3	3	3	3	定期的な新規利用確保
					実施														
10		地域との連携	地域行事参加 GOPARKとの運営推進会	白石	計画		合同研修	合同研修	運営推進会議						合同研修	運営推進会議			機能別通所の交流、相互理解
		76-% C 07 Æ J/3	議の合同開催	槇	実施														地域住民との交流 新規利用者の獲得
11		GoParkとの連携	GoParkとの効率の良	白石	計画	同一方向	うへの効	率的な迫	近と適な	のな人員	配置の検	討無駄	太のない耳	車輌の編	成	ı	ı		GoParkとも共同して実施
		a. a	い送迎の実施	全職員	実施														
12		ICTの活用	計画書等ソフト活用 入力方法の習得	全職員	計画		ICTを活	用し、現物	犬の計画	書や加算:	対象となる	書類等0	D移行·方	法習得・₹	7ニュアル -	作成に取	り組む。		ICTの活用
			マニュアル作成		実施														業務効率化
13		災害時の	災害時BCP 防災・防犯マニュアル	施設長	計画		サービス	提供中に	おける災害	害対策を	身に着ける	5。在宅生	活におけ	る災害時	の安全に	ついて啓	発を行う。		災害対策の理解、協力 ご利用者・職員の災害時の
13		安全確保	の更新、確認、訓練	白石	実施	防火訓練		水防訓練 BCP訓練			地震訓練		BCP訓練	防火訓練				地震訓練	と 利用名・職員の災害時の 安全確保(準備)

部門(事業所名): 特養なの花

令和7年度目標:一日平均(28.5)人

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
				ユニットL	計画	平均28.	5名 ——											-	1日平均28.5名以 F
			ベッド稼働率の向上 (平均28.5名)	人 杉尾 小野	実施														次期入所者の選定 と面接を早めに実
			次期入居者の準備 面接の強化	\1\±\	計画			入所検討			入所検討				入所検討			入所検討	施
					実施														(空床5日以内目標) 標)
1		安定運営に向け	介護報酬改定に伴う加算の選定	杉尾 ユニットL	計画	加算見 直し				LIFE運用 開始								•	最適な介護サービス の提供
1		て	LIFE関連加算	小野 全職員	実施														介護の質の向上・専
			管理者、相談員、ケアマネ・リーダーの業務	小野	計画	業務マニ	ニュアルの	の整備 よ	最適な役	割分担を	都度検	討						•	法人内の体制変化にいつ
			の共有し、業務の整理・下位代行を進める	小野 ユニットL	実施														・でも対応することができ る。
			経費適正化委員会(QP)に	ユニットL委 員	計画				PDCA+	ナイクルを	回し、そ	の結果を	数字で	哉員に伝	えていく			1	人職 ロバーフ 辛齢ナ
			て生産性の向上や経費適 正を測る(ムりムダムラをなく す)	小野 看護師 施設長	実施	オムツ勉強会	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	実施評価	全職員がコスト意識を 持って行動できる
			業務効率化を図り有給 消化率の向上	ユニットリーダー	計画	オペレー	-ションの	継続的な	は改善を	図る・オ^	\$委員∙有	育給消化	0日	•	•	_		-	全職員が理解し行動
			オペレーションの毎月 の見直し。	担当職員	実施														できる仕組み作り年 10日以上有給消化
2		やりい陬塚塚児	リフト効果測定(介護職の負担軽減・生産	ユニット	計画		評価・振 り返り			評価・振り返り		•		評価・振 り返り	•		評価・振り返り	1	介護者の腰痛改 善・予防
2		作り生産性の向 上	戦の負担軽減・生産性向上)	L	実施														生産性の向上
			職員面談による目標	ユニットL	計画	新人面談	•	面談			•	•		面談	•		•	•	介護の質・人材育成
			設定・課題解決・振り 返り・評価	小野 施 設長	実施														モチベーションの向 上
0			新人教育マニュアルの 策定	小野担	計画	1	吏用∙修፤	E		•	•	•	•	•		•	•	*	新人教育マニュアル の第1原案の作成翌
3		教育	新人教育者の教育・育 成	当職員 ユニットL	実施														年度持越しブラッ シュアップ
			お看取りカンファレンス	ユニット	計画	お看取り	し後のカン	ノファレン	スの共有		•	•		•		•	勉強会	-	感情を振り返り肯定的 に認めることができ今
			全職員が共有する	リーダー	実施														後のお看取りにつなげることができる。
		ま 明 性 の 亡 !	毎月の感染対策委員 会・感染マニュアルの	手类好	計画	毎月の	 惑染予防	委員会/	業務マニ	ュアルの	作成	-	•	勉強会		•		-	通常業務化
4			更新・勉強会 通常業務化への移行	看護師 小野	実施														・感染業務マニュアル の作成
			感染症対策	.I. M7	計画	ВСР	更新	•	-	•	•	+	•	•	•	•	•	-	全体で共有し迅速
			BCPの更新 感染対策訓練	小野 全職員	実施														に始動できる

部門(事業所名): 特養なの花

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			事故防止 ヒヤリハット事例より	ユニット	計画	4	勉強会		毎月の	事故防止	委員会		勉強会						事故防止のPDCAサ イクルを回し、職員
			収集・分析・啓発	リーダー	実施														の意識向上と事故の 減少
			防災・減災 BCPの更新	担当職 員小野	計画	火災訓練		水防訓練		防犯訓練	地震訓練				火災訓練			地震訓練	災害時、迅速、的確な行動ができ減災
			防災訓練の実施		実施														し、事業継続する。
			誤嚥性肺炎にならない	ユニットL	計画	週2回中	西歯科と	≟連携し□	1腔リハ	ごりの実施	施・ミール	クウンド	の実施					-	ー ロ腔機能を維持し安
4			ために 口腔機能維持	小野	実施														全においしく食べていただく
,			口腔ケア勉強会	担当職員 小野	計画			勉強会						勉強会				評価	・肺炎による入院の減少
				.1 21	実施														1195, 2
			勉強会の実施	全職員	計画	倫理法令	事故防止	食中毒	虐待	医療	接遇		事故防止	感染症	褥瘡	身体拘束	ターミナル	レ認知症	専門性の向上机上の知識だけでなく、
			70,322,17,71,30	— 19052	実施														実践につなげる
			ポジショニングの知識	担当者	計画					勉強会 開催	ユニット 会で伝達								道具の使用方法だけで なく、基本となるポジ
			の向上	全職員	実施														ショニングの知識を身 につける
		季節の移り変わり や食の楽しさを味	コロナ禍でも安心して	ユニットL	計画	花見	喫茶	r	喫茶		喫茶	1	喫茶	1	忘年会	福引	節分	ひな祭り	季節を楽しみ人生の 質を上げることがで
5		わっていただくような行事の充実	四季を味わっていただ く行事づくり 喫茶	担当職員	実施														き心を豊かに保つことが出来る
6		地域との連携 地域に開かれた	運営推進会議の実施(2か月に1回)	ユニットL CM/小野	計画	運営推進 会議地域 清掃		運営推進 会議		運営推進 会議			運営推進 会議地域 清掃		運営推進 会議		運営推進 会議	家族会総 会	運営推進会議の年6
		施設になる	地域の清掃に参加	施設長	実施								77.111						回開催

部門(事業所名):ショートステイなの花

令和7年度目標:一日平均(18.8)

)人

事業計画 重点目標 ゴール 実施 中間 10月 取組み事項 取り組み内容 4月 5月 6月 7月 8月 9月 11月 12月 1月 2月 3月 との連動 担当者 評価 (目標達成) No. 各居宅事業所との情報共有を行い、相談から面接・契約・お試し利用までをスムーズに行い定期利用につなげる。 月平均18.5人以上 事業収益を上げる 利用者一人当たりの 森川 単価を上げる 安定した運営に 1 ロング枠の満床 収入アップ 向けて ロング枠の情報共有を特養と連携する (9ベッド) ベッド稼働率のアッ 森川 特養への入所をス 相談員 ムーズに行う 災害時の迅速な対 マニュアル改定 見直し 応ができ減災及び事 防災・減災に向 定期訓練の実地 2 全職員 業を継続することが BCPの更新 けて 災害対 地震訓練 地震訓練できる。 離職者ゼロ 業務制限などの希望調査をし、個人にあった働き方に配慮する ジョブ型雇用の実 働き方アンケートの実 全職員 面談 面談 業務改善による取得 やりがいと働き 率年間10個以上 やすい職場環境 有給取得率の向上 全職員 3 に向けて 生産性向上への取り 全員 組み 事故発生数の減少 事故・ヒヤリの集計と 事故防止 全職員 分析 集積 集積 分析 分析 4 災害時の迅速な対 |地震訓練時には全職員の安否確認を行う。(災害緊急時ラインでの安否確認も実施する) 感染対策 応ができ減災及び事 定期訓練の実地 新型コロナ感染 全職員 業を継続することが BCPの更新 予防 水分訓練 防犯訓組地震訓練 地震訓練できる。 防火訓練 防災訓練 1回/月の業務改善会議を開催。各勉強会の実施、困りごとの話し合い、行事の振り返り等 会議の実施① 根拠ある 副主任 ケア内容・業務 内部/ 身体 虐待 法令 年度振り ハラスメント 各種訓練·勉強会 感染症 認知症 内容の統一 食中毒 拘束 防止 順守 防止 予知 返り 感染症の知識を習 BCP/マニュアル改定、見直し、ご利用者緊急連絡先等確認、洗い出し(フェイスシート最新版) 専門性の知識 コロナ含め 得し、 5 森川 の習得と実践 デイでの蔓延を防 感染症対策 ぐ マニュアル改定、見直し 防災知識の習得と 災害時対策 森川 災害対 実践 地震 地震訓練 策(地域住民 訓練

部門(事業所名); デイサービスセンターアソカ園

令和7年度目標;一日平均 32人

	.,,,	ノイリーにスピン		, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>	15 1A / 1 /2	<u> </u>	υТ×													NO. I
	重点目標 との連動	取組み事項	取	り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
				具体的	内藤	計画	832	864	800	864	832	800		832	832	800	768	768	832	
			延べ	利用人数目標	アリが米	実施														安定した利用人数
				具体的	内藤	計画	100	100	100	100	100	100		100	100	100	100	100	100	の確保
			登録	大数目標 	1 3/124	実施														
		適正収益		並担利田 孝		計画	3	3	3	3	3	3		3	3	3	3	3	3	①新規利用者が
1		の確保	営業	新規利用者 の確保	内藤	実施										営業。自 使用した情				利用停止者を上回る ②アソカDSの認知度UP
			*			計画		要	介護者の	利用回数	の増加を	提案(二	一ズを提	案)、振替	え利用等	₹、稼働率	低下を防	止		 稼働率、延べ
				の利用追加	内藤	実施							随時							利用人数の向上
				時間利用を	内藤	計画				定期	的に会議	を開き、	事象の振	り返りを行	う(頻度	未定)				費用対効果を念頭に置い
				入れた営業法 主に予防)	上甲	実施		会議	で方法を	決め、リー	-ダーはC	ODAルー	-プ的に弱	場の中で	迅速かつ	こ正しい意	思決定を	行う		た 経営の実現
			事+#	の検証・確認	内藤	計画	事故報告	書からの	り取り組み	▸勉強会	。1回/月	、委員会	を実施し、	その月の	事故・ヒ ⁻	ヤリを振り	返り、再会	発防止策	を決める	再発防止と周知徹底
			争以	.の快祉 唯祕	徳本	実施					朝礼、業	務改善会	議内(委)	員会を含む	じ)で実施	į				书 无切正C 同知 徹底
				外のスリム化 時間外勤務	内藤	計画	業	務内容(り見直し・:	適宜マニ	ュアル作り	成			時間内	こ各業務を	を終わらせ	せる工夫		無駄な時間の削減・
2		業務の適正化	μ,	の削減	荒木	実施	j	業務内容	の洗い出	し、業務の	Dみえる(<u></u>		_	-人一人0)生産性の)向上(時	間を意識	₹)	生産性の高いチーム作り
-		未初 07/50年10		物品管理 おやつ・文房具・	荒木 脇田	計画				物品0	の適正数の	の確認(マ	アニュアル	/作成)、則	購入方法 (の共有				適正に備品やケア用品
				と	山内	実施			新しし	いものにつ	ついては-	-人で決定	とせず、仮	使用法や 管	管理法も	食討し購入	、する			の購入ができる
				らすい環境作り	内藤	計画	定期面	前談だけて	でなく、随田	侍面談→	即時対応	・理解			相互理解	、個性に	合わせた	役割分担		チーム力の向上
				人材育成 —————	全職員	実施														人間力の向上
			/=Li a i	外出	上甲 鴻上	計画		未定	(近距離	ドライブフ	など)	1			世間の	状況に対	応した取	り組み		
			(計画	の立案・評価)	- 馮工	実施		各花見等												ご利用者の
				訪問	上甲	計画		世間の	状況に対	応した耳	対組み	1			世間の	状況に対	応した取	り組み		幸福感向上
3		コロナ禍における		販売含む) 		実施														
		年間行事の確立		行事立案 ノンダー作成	上甲	計画			遊びリ・	レク・書词	道·絵手組 ·	・笑いヨオ	げ・デイ喫 r	茶・お楽し	み弁当・	誕生日お	祝い等			ご利用者の
<u> </u>			誕	生日お祝い	荒木	実施						敬老会		運動会		忘年会				特別感向上
				がいを感じる	鴻上 脇田	計画			1	季節	たに応じた	:創作物σ ι)作成·脳	iトレプリン T	トの提供	など	1			ご利用者の生きがい、
			114 3	業∙創作活動	大西	実施														やりがい等、自信の回復

部門(事業所名); デイサービスセンターアソカ園

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取	り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			環境	整備(席配置)	上甲	計画			OODA	ループ	•					OODA	ループ			全体としてベストな環境
			フロ	アの全体最適	荒木	実施			ご利用者	の担当職	貴が発信	、席配置	は矢野美	が主とな	り調整し、	全体最適	を考える)		設定を提案できる
				專・口腔・服薬 、浴・排泄等	脇田 上甲	計画			OODA	ループ						OODA	ループ			個別に必要なケアを統一
4		利用者のADLや ケア内容等		.冶・排心等 施板の更新	荒木	実施						ご利用者	の担当職	員が発信	i					して行うことができる
4		の情報の共有	機쉵		徳本	計画			PDCA	ナイクル						PDCA+	ナイクル			ご利用者のニーズを各
				情報共有	全職員	実施		ご利	川用者の担	3当職員	がOTと確認	忍、相談し	理解を深	める→必	要時は発	信→ケア	の統一、	確立		職員が適切に理解できる
			適均	刃な書類作成	徳本	計画		介記	養計画書(の適切な	運用				アセス	メント力UF	、見る力	の向上		介護力の向上
			介護	計画書の運用	全職員	実施		担当ご利用者の状態確認→ケア方法の見直し(書類はPDCA or APDC)、チェック											直接処遇の向上	
			会	議の実施① 内部/	内藤	計画		担当こ利用者の状態確認→ケア方法の見直し(書類はPDCA or APDC)、チェック 1回/月の業務改善会議を開催。各勉強会の実施、困りごとの話し合い、行事の振り返り等												根拠ある ケア内容・業務
			各種	訓練・勉強会	正職員	実施		身体 拘束	虐待 防止	法令 順守	ハラスメント 防止			危険 予知	食中毒	感染症		認知症	年度 振返り	内容の統一
				議の実施②	内藤	計画			定期	的な通所	f会議、食	の会(1回]/月)、管	理者会議	(1回/月)	の実施と	参加			他事業所との連携、法人
			(他事業所)	PIRK	実施														全体の方針確認
		専門性の知識		コロナ含め	内藤 上甲	計画		マ	ニュアル	改定、見ī	直し、ご利	用者緊急	連絡先等	確認、洗	い出し(フ	ェイスシ-	ート最新版	<u>v</u>)		感染症の知識を習得し、
5		の習得と実践	緊	感染症対策	看護師	実施														デイでの蔓延を防ぐ
			急 時	災害時対策	正職員	計画		マ	ニュアル	改定、見回	し									- 防災知識の習得と実践
			の対	火日时八米	工机员	実施						地震 訓練		災害対策 (地域住民と)					地震 訓練	例外和戚の目 時ご失政
			応	転倒·離設 熱発等	内藤 上甲	計画		各、	マニュアル	∕改定、見	直し									ご家族にはきちんと説明、 助言を、各機関には適切
				緊急時対策	荒木 脇田	実施														な情報を伝え、安全かつ 円滑に緊急対応できる

部門(事業所名): 居宅介護支援事業所 アソカ園

部門(事業		古七汀護文抜	事業所 アソカ園																
事業計画 No.	重点目 標 連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			給付管理に繋がる新規獲得が		計画	要介護者	の新規獲	得と加算の)算定、入	院者の減	少		要介護者	の新規獲	得と加算の	の算定、入	.院者の減	少	
			できる様に事前準備を行い担当者に引き継ぐ。また、給付管		(目標数)	128	128	130	131	131	131		132	132	132	133	133	133	
			理後、月次日報を作成し、その都度、収益増減の原因を明ら	渡辺	(入院者)	6	5	7	7	7	7		7	5	5	8	6	5	給付管理に繋がる新規獲得
			かにし、解決方法を探っていく。		実施														を目指す。要介護3, 4, 5の 受け入れや入院者を少なく
					計画	要支援和	上 皆の担当。	L 人数維持		ı	1		要支援者	L の担当。	人数維持	I	ı	<u>l</u>	すことで収益を上げることができる。また、要支援者を受
			要支援者担当人数の維持を図 り、今後の要介護者の確保に	渡辺	(総人数)	42	42	43	43	44	44		46	46	48	48	50	50	け入れることで先の要介護 者の確保に努め、目標人数
			努める。		実施							1							有の確保に劣め、日保人数 の達成につなげることがで き、安定した収入を確保する
1		適正収益の確 保	 十全総合病院、住友別子病 院、愛媛労災病院、西条市民		計画	要介護者 の参加	5の新規	隻得、病 院	ਜ∙保険₹	主催の研	げ修会へ		要介護者 の参加	の新規を	蒦得、病 障	完・保険者	主催の研	形修会へ	ことができる。
		₩.	病院のMSWへの営業活動や 包括支援センター、ブランチへ	全員	(新規)	5	5	5	5	5	5		5	5	5	5	5	5	•
			働きかけ、要介護者の新規獲得に努める。		実施														
			業務の標準化や優先順位の整				削減(フェ i、ペーパ-	ースシート -レス))	、ケアプラ	ン、経過記	記録作成			削減(フェ 、ペーパ-		、ケアプラ	ン、経過記	己録作成	日中世界の共立14十四日日
			理、報連相の精度を上げる。またICTの活用により業務の効率	全員	計画	60	60	58	58	55	55		53	53	50	45	45	40	居宅業務の効率化を図り残 業時間を減らすことができ
			化を図る。		実施														් る。
			特定事業所集中減算にならないよう、各サービスの紹介率の	海加	計画						紹介率の 確認				事業所自 己評価			紹介率の 確認	加算の所得や減算予防がで
			確認や加算の確認を定期的に 行う。	渡辺	実施														きる。
			業務の標準化や優先順位の整理、報連相の精度を上げ、事業		計画			防止		プライバ			認知症	パワ	•	倫理·法			事業所が処遇方針を決定する プロセスを踏み、適切なケアプ
			所としてのケアプラン作成を行 う。また、内部研修や会議にて	全員 (順次)	前四			生産性向:担当者)、									員会(毎月 (委員会(3		ラン作成ができる。また、課題に 対する改善策を事業所全体で
2			課題の改善策の検討を事業所 全体で行っていく。		実施														考え、幅広い知識を得ることが できる。
			地域包括支援センターや職能団体 等が開催する法定外の研修やオン	全員	計画	会、ヤングケア	部会、病院、保防 ラー、障がい者、 等への参加(随助	検者主催の研修会 生活困窮者、難損	、地域ケア会議 関患者等への支	、他事業所との 接に関する知識な	共同事例検討 などに関する事		会、ヤングケア	部会、病院、保防 ラー、障がい者、 等への参加(随時	生活困窮者、難須	会、地域ケア会議 病患者等への支持	版、他事業所との 接に関する知識が	共同事例検討 に関する事	適切なケアマネジメント手法を 活用することで、ケアマネジメン
			ライン等を活用し各方面の研修に 参加する機会を増やす。	(順次)	実施														トの質を一定以上の水準に保つ ことができるようになる。
			光度ではつかまと回りませた		計画	残業時間 在宅ワー		得時の事	前申請、フ		の活用、		残業時間 在宅ワー		得時の事	前申請、フ	レックス制	の活用、	働きやすい職場環境を作ること
3		労働環境の整 備	労働環境の改善を図り適切な 管理を行い、評価基準を定める ことができる。	全員	前四			マイケアフ ラン、評価 面談		文援業務 自己チェック	面談				マイケアフ ラン、評価 面談		文援業務 自己チェッ	面談	ができ離職の防止ができる。また、ケアマネジャーを目指す人
					実施														材が増える。
		感染症、積雪、	感染症や災害・積雪・大雨・暴 風時の注意喚起を継続する。ま		計画			、対象者の 寺のBCP(業								確認、新型 養務継続計	コロナウイ画)の更新		感染症対策を通常業務として捉
4		地震、豪雨等の 災害に対しての	た、独居や高齢者夫婦等、安否 確認が必要な方や対策の必要	全員	n 1 (22)			対象者名 簿の確認			ンェイクア ウト、火災 訓練				対象者名 簿の確認			ンェイクア ウト、火災 訓練	え、発生時や災害時でも適切な マネジメントが継続できるように
		備え	な方たちの把握を行い災害時 に備える。		実施														備えておく。

部門(事業所名):地域包括支援センター協力機関(ブランチ)アソカ園

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			地域主導の話し合いの	田中	計画			浮島	•	神郷	浮島	•	•	•	浮島	•	神郷	浮島	個別課題から地域課 ・ 題解決に向けての話し
			場への出席	四甲	実施														合いの準備を行う。
		地域 ネットワーク	民生児童員連絡協議 会、見守り推進員連絡協	田中	計画	神郷 見高津 見	高津 民	神郷 民	神郷 見	高津 見	高津 民	I	神郷 見	高津 見	神郷 民	神郷 見高津 民	高津 見	I.	地域の実情把握と関係機関の役割を周知し、
		作り	議会へ出席	шт	実施														関係構築を行う。
				m.±	計画			•		•	•	•	•	神郷 文化祭	1		•	•	各団体との連携と地域
			地域イベントへの参加	田中	実施														住民への取り組みの周 知を行う。
			健康長寿地域拠点づくり	m.±	計画	担当	10拠点3	すべてに	対して、年	- 1回の生	活•運動	機能評価	,年2回	の継続指	道学を実 が	也。測定 耶	戦員4名で	対応。	地域主体での拠点運
		A =++ → nL → alle	事業の実施 PPK体操	田中	実施														営が継続していく。
		介護予防事業	地域からの要望に合わ		計画			東楠崎	中郷		田の上 浮島 (数)		高津		•	浮島	松の木	田の上 高津	健康づくり、介護予防 への意識を高め、元気
1			せて介護予防今日⑦室 を実施する	田中	実施						(450)								で地域での暮らしを続 けることができる。
			認知症への理解を深めるため、教育機関や一般	_	計画		地域包	」括支援1	2ンター	や協力機	関と連携	、教育機	関5校、	一般2件	以上の別	昇催協力	を行う。		認知症の知識や接し方を正しく理解すること
			向けに認知症サポーター 養成講座を実施する	田中	実施														で、認知症の方を支える応援者を増やす。
			認知症サポーターの活動の場を作る。	_	計画				地垣	[[包括支持	 爰センタ-	- −主導の	チームオ	レンジと	:協働	1	ı	I	認知症サポーターの活動の場を作り、認知症
		認知症啓発	・認知症の人と家族の会と連携	田中	実施														の方や家族に対する支援者を増やす。
		本人・家族への 支援	認知症の方を介護してい る家族交流の作る「おひ		計画	1				毎月	- 月第4木₿	型日13時	より開催	Ĕ		•		l	年間で新規参加者3名を目指す。介護負担の
			さま」を利用 ・認知症の人と家族の会 と連携	田中	実施														軽減や介護者同士の 交流を図る。
			若年性認知症の方への		計画	<u> </u>		ļ	愛!	└─── 媛県若年	性認知症	E支援コ・		-ターとi	 連携		ļ		事例検討会への参加、 情報共有により、日頃
			支援	田中	実施														からの関係づくりを行う。
0		ファシリテート	ブランチ学習会に参する	田中	計画			•		毎	月のブラ	ンチ連絡	会後に開	開催	•	•	•	•	包括、ブランチでの事 例検討会や情報共有
2		スキルの向上	ノノンア子百云に変する	田甲	実施														により、ブランチ間での 連携を図る。
		介護の	教育機関等で、福祉や介	m±	計画			福祉 学習		福祉 授業			福祉 学習	福祉 学習					高齢者への接し方や福 祉の仕事のやりがいや
3		普及啓発	護の目的や意義などを 伝える活動を行う	田中	実施														魅力を知ってもらう機 会とする。

部門(事業所名): GoPark

令和7年度目標:一単位平均(15)人、一日平均(30)人

事業計画 重点目標 実施 6月 7月 8月 9月 中間 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ゴール 取組み事項 取り組み内容 との連動 担当者 (23日) (21日) 評価 (23日) (21日) (21日) (20日) (21日) (目標達成) No. (22日) (23日) (20日) (22日) (20日) 1単位当たり登録 計画 286 299 260 322 308 294 345 315 315 300 300 315 延べ人数の確保 伊藤 18名 実利用数15 (1単位当たり) 実施 計画 572 598 520 644 616 588 690 630 630 600 600 630 延べ人数の確保 1日当たり登録36名 伊藤 (1日当たり) 実利用数30名 実施 計画 105 105 106 107 107 108 108 109 109 106 111 113 登録実人数の確保 伊藤 今年度登録113名 実施 適正収益の確保 1 計画 2 2 2|空き情報の明確化・ 伊藤 新規利用の確保 HP掲載 実施 計画 モニタリング・計画作成・評価の実施 多職種連携した計画の作成 適切な人員配置 個別機能訓練加算 伊藤 個別機能訓練加算の の定期的な評価の 全職員 実践 計画 |漏れのない継続的なデータの入力の実施 伊藤 科学的推進介護加算 LIFEとの連携 の維持 全職員 実施 計画 法令遵守 個人情報 BCP 感染症 虐待の防止 身体拘束 認知症 感染症 BCP 事業所評価 事業計画 事業実績 勉強会の実施 伊藤 専門性の向上 リハステージ郷とも 全職員 共同する 課題抽出 計画 委員会の実施 伊藤 原因分析 生産性向上のための 業務改善の取り組み 全職員 解決策立案 専門性の向上・ 実施 実施:評価 2 質の高いサービ 計画 | 同一方向への効率的な送迎と適切な人員配置の検討 無駄のない車輌の編成 スの提供 伊藤 リハステージ郷との効 リハステージ郷とも 率の良い送迎の実施 全職員 共同して実施 実施 計画 | 測定・評価 | 測定・評価 | 測定・評価 研修 測定・評価 測定・評価 測定・評価 測定・評価 測定・評価 測定・評価 測定・評価 測定・評価 本員がAYUMI EYE 定期的な評価・フィード 江口 の測定・フィードバッ バックの実施 全職員 実施 クができるようになる 感染症に対する知 計画 食中毒 備品確認 マニュアル整備 備品確認 マニュアル整備 ノロ 感染対策の確認・更新 看護師 備品更新 ご利用者への周知 全職員 実施 マニュアル更新 計画 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員: 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 事故防止委員会 加藤 ヒヤリハット分析 事故防止 車両事故防止 全職員 ヒヤリハット予防 安全・安心でき 実施 車輌事故の共有 3 るサービスの提 計画 緊急時の対応ができ マニュアル整備 マニュアル整備 加藤 緊急時の対応 るよう、勉強会の実 全職員 実施 計画 BCP見直し BCP見直し 伊藤 BCP計画に基づいて BCPの見直し 事業継続の周知 全職員 実施

部門(事業所名): GoPark

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月 (22日)	5月 (23日)	6月 (20日)	7月 (23日)	8月 (22日)	9月 (21日)	中間評価	10月 (23日)	11月 (21日)	12月(21日)	1月 (20日)	2月 (20日)	3月 (21日)	ゴール (目標達成)
			レクリエーション・レッド コードメニューの更新	江口·矢野	計画		•	•	テー	マに沿っ	たメニュ	一を提供	せし、楽し	んで取り	組む	•	•		月替わりでマンネリ
			(一部)	全職員	実施														の防止
			予防体操•健康講話	小野·川東	計画			自宅で	ごできる(4	体操の習	得•健康	や予防に	対する詩	煙を通し	て知識の	の習得			
				全職員	実施														
4		ニーズに応じた サービスの提供	茶話会	全職員	計画		季節原	惑•特別原	感を感じて	てもらい、	職員と普	段ゆっく	(りできな)	い話(ア	セスメント	含む)が	できる	•	季節に応じたおや
,		と満足度の向上	жшд	1 4% 54	実施														つ・飲み物を提供
			実践歩行	伊藤•矢野	計画	桜	あじさい	菖蒲					河川敷	紅葉	買い物	初詣			季節感を感じながら 実践的な歩行を楽し
				全職員	実施														t)
			脳トレ	小野·加藤	計画		1	r	r	脳トレ	プリント	の提供	認知症の)予防		r	r	•	
				全職員	実施														
5		地域との連携	運営推進会議の実施 (リハステージ郷と共	伊藤	計画		合同研修	合同研修	運営推進会議						合同研修	運営推進会議			リハステージ郷と共同
			同)	全職員	実施														事前に打ち合わせの 実施
			業務の効率化を図り有 休の消化の実施	伊藤	計画		勤務調整を 変更する。: -				行う。職員	の異動等	がある場合	には変更。	勤務職員	の変動によ	い、オペレ	ーション	年間5日以上の有
6		働きやすい職場	定期的にオペレーショ ンの見直し	全職員	実施														休消化が出来る
		環境の整備	年2回上司との面談。 自己の目標設定・振り	伊藤	計画			面談							面談				面談の実施 自己目標の達成
			返りの実施	全職員	実施														働きやすい職場

令和7年度 事業所別活動計画 No.1

部門(事業所名): ケアハウス白寿

令和7年度目標: 延べ 26 人/月

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(目標達成)
			体操の声かけ・実施	4 = 11 = 0	計画		希望:	者向けに	本操の時間	間を設け、	習慣化を	目指す。	いきいき	体操 (铂	₽週金曜•	行事日は	休み)		規則正しい生活
1		健康増進	水分提供	全職員	実施														ADL低下防止·向上
			献立内容の相談 外注の食事行事・喫茶行事	主)久保	計画			季:	節のもの.	. 食べたし	ものを聞	き取り、食	事へ反映	きしていく。	(別紙計	画)			満足度の高まる食事の 提供
2		楽しめる食事	計画・実施	全職員	実施		食中毒 啓発												で 食の楽しみ提供 QOL向上
					計画	利用者	に合った(固別のコミ	ュニケー	ションの時	持間を作る	/定例会	での意見間	引き取り/	利用者間で	での円滑な	よ交流の+	ナポート	
			個別二一ズの聞き取り		実施				席替え					席替え				席替え	個々に合う楽しみやス
3		個別の傾聴支援	必要に応じて相談先調整	全職員	計画					通販	の買い物	支援+白	寿図書の	充実					トレス解消の支援 QOL向上
					実施														
			外出の相談		計画	気分転	換が図れ	るよう、個	国々の外と	出希望に関	関し、実現	に向けて	相談・提案	を行 う 。	外部サー	ビスの紹	介・利用を	(含む)	- 閉じこもりを防止
4		閉じこもり予防	外出時の必要な調整支援	全職員	実施	桜		あじさい		お盆			地方際	紅葉	お墓参り			お彼岸	QOL向上
			入居者の変化を情報収集		計画	入居	者の状態	変化につい	いて情報	も有し、個	別支援計	画に反映	する。白美	- 手として可	能な支援	を決定・実	- €施∙評価	する。	その人らしく暮らせる支
5		個別支援計画更新	評価・更新を実施 (6ヶ月毎)	全職員	実施														│援の共有 ケアの統一
		利用者基本情報	入居者の変化を情報収集	>> = //	計画	入居	者の情報	を整理・	更新し、病	院受診、	救急搬送	、他施設	ナービス系	川用時等の	D速やかな	は情報提供	共に活用す	る。	情報提供の円滑化
6		(サマリ)更新	情報提供に活用	主)久保	実施														各事業所との連携
_			早めから転居相談 関連施設との連携	主)久保	計画	心身のキ	犬況に応し	こて、様々	な支援を	受け安心	して暮らせ	さるよう、恥	戦員・本人	・家族間で	で相談を行	が、円滑	な転居を	目指す。	リロケーションダメージ
7		住み替え支援	転居後のフォロー 入所検討会(3・6・9・12月)	柴田	実施			入所検討			入所検討				入所検討				の軽減 転居先への移行
			各種情報共有·課題検討		計画		•	職員間で	で連絡・相	談事項の)共有を図	り、課題の)検討や耳	以り組み目	標の確認	を行う。	•	•	業務の改善
			入居者検討 各委員会の実施	主)久保	実施														ケアの質向上 入院・退居の予防
8		カンファレンス	***	全職員	計画		1	F	- 円滑に漏れ	なく申し		確認を行	 う方法・ス	キルを身	·に着ける。	0	1	1	
			業務の効率化推進 業務オペレーション更新		実施														-最小人員で運営維持 かつ業務負担の軽減

令和7年度 事業所別活動計画 No.2

部門(事業所名): ケアハウス白寿

大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	Hb1 1/4	*/// "	<i>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </i>	디지																110. 2
全種語称 上次解析の計画・実施			取組み事項	取り組み内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	_ ,,,
10 中価が等 外部研修へ参加 金銭店 接換日 参約申載 事務申 1 (75222) 日間 別知度 数 事件的 第						計画	専門職と	しての知識	戦の習得、	苦手克服·	向上のた	め、学びの	機会を持	つ。(法定	研修:別約	(計画			•	
10 日本語	9		各種研修			実施	法令順守		身体拘束1		ハラスメント					感染2	身体拘束2		事業計画	社会人としての同上 専門職としての向上
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本						計画	他部署と	情報共有	を行いなか	ら、検討事	事項や対応	な確認を行	い、予防・	改善に務め	める。					
11 合理検検 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田							市井吐山	車が吐し	車掛件止	車歩吐止	車が吐し	車歩吐止	1	車が吐し	車が吐止	車が吐し	車掛件止	車歩吐止	車歩吐止	事故の未然防止、適
大田田 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	10		各種委員会																	切なケアの統一・安心
日本物語 日本の日本 日本の日本				針、マニュアル確認	全職貝	宝施	和良	1000	和及	帕及		和及		和政		中及	和及		和及	安全の提供
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本						- NE	息体物市.	心未入水		良体均亩.	心木八木			良休均亩.	心木八木		良休均亩.	心木八木		-
11 各種訓練 全職条件部定割練 全別人保 実施 一次保 会工 アル 健認 大																				
大田・松麻田芝見訓練						計画	災害·感	染症発生	寺の初動を	確認し、職	战員·入居:	者の安全を	確保する	。各BCPを	を整備する	0				※宝砂笠の共有
全種訓練						実施		感染BCP	水防	災害BCP	防犯				感染	防火	感染BCP	災害BCP		感染症対策の共有
大田香参加型の訓練 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花例会での周知 大田香花の油味 大田香花の油油 大田香花の油味 大田香花 大田香花の油味 大田香花 大田香木 大田香花 大田香花	11		各種訓練			計画		主体的に	. 安心安全	! 	できるよう		に学びの	 機会を持 [.]	↓ つ。		<u> </u>	!	ルエスエル	
大原書定例会での周知 久保 天地 火災対策 日風対策 地域対応 地域が関新 地域が関加 地域が関加				2 E * A !- W = 50 /*	ė ma (v	ш		<u> </u>]	T	1 4,55,50	, 0 0,	1						
12 「競染症対策						実施	感染対策 火災対策		台風対策		防犯対策	地震対策			感染対策	火災対策			地震対策	連携強化
マニュアルの更新 実施 単数 単数 単数 単数 単数 単数 単数 単	10		on thurth 4	情報収集	人聯旦	計画	感染状況	に応じて	適切かつ神	速な対応	がとれる。	よう準備を行	テう。関係	機関とのご	重携を図る	00		•		感染症発生未然防止
13 緊急時対応 救急搬送先の再確認 特養夜動者 実施 実施 実施 実施 実施 実施 大居相談・見学対応 接夜動者 大居相談・見学対応 大房相談・見学対応 大房相談・見学対応 大房相談・見学対応 大園居に係る業務分担 上)久保 全職員 上)久保 全職員 上)久保 全職員 大園居に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 全職員 大園房に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 大園房に係る業務分担 上)久保 大園教者の情報収集・見学者の対応を行う。退居から次期入居までの準備を、分担・協力して行う。 計画 整理整頓を心掛け、各職員が分担して掃除を行う。 持國本・室温管理 大園屋	12		松朱征 刈束		王啝貝	実施														
13 「特養夜勤者との連携 特養夜勤者 実施 「				数色拠送生の正確認	ム 融号	計画	急変時、	落ち着いて	く対応でき	るよう、情	報収集・マ	ニュアル硌	証認を行う	。本人・ご	家族の意同	句確認を行	īð。	•	•	
14 適正収益確保 待機者の現況確認	13		緊急時対応			実施														
14 適正収益確保 行機者の現況確認 入退居に係る業務分担 定期的な空室案内 実施 「存機者へ予約継続・終了の確認連絡を行う。				入居相談・見学対応		計画	平均入居	▲ 計者数26名	<u> </u> を目指し、	入退居に	L 関する準値	<u> </u> 	 行う。	I						空室の短期ル
計画 整理整頓を心掛け、各職員が分担して掃除を行う。 館内・館外の清掃	14		適正収益確保	入退居に係る業務分担		実施			お談者の	桂起 顺集。						公切. 协士	リア行う			
15 環境整備				た物的は土主米的									区店 かりみ	州八店まり	の年順で、	. 万担・協力	10 C117.			
15 環境整備 整理整頓 全職員				館内・館外の清掃		計画	整理整頓	を心掛け	、各職員が	分担して	掃除を行う									
登理登明 掲示物更新 実施 「実施」 「実施」 「実施」 「実施」 「またみ生」 「スアコン	15		環境整備		全職員			1			_	換気•	消毒·室	温管理					_	快適な空間の提供
	10		->K-20 TE NUI		工物尺	宝施				除湿器設置	直	1				加湿器設置	<u></u>			NAME OF THE OWNER.
				四小切文制					カビ対策			ワックス					消毒強化		害虫対策	

部門(事業所名): ほの花

令和7年度目標:一日平均(17.6)人

事業計画 重点目標 ゴール 実施 中間 取組み事項 取り組み内容 6月 9月 10月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 7月 8月 11月 No. との連動 担当者 評価 (目標達成) ユニット間で協力が出 配属から3ヶ月を超えたスタッフは両ユニットでの勤務が可能になるように勤務の調整、と業務の理解、習得を目指す。 毎月、話し合いの実 ユニット間で協 来るようスタッフの行き ミーティングをユニット合同で実施 No.1 全員 施と議事録の作成が 来を計画的に実行す 力したケア 実施 できる。 実施 実施 実施 実施 介護報酬改定に伴うそ 計画 管理者 算定できる加算を確 れぞれの加算算定の 計画作成 実に算定できる。 見直し。 実施 3ヶ月に一度検討会実施。待機者の整理や面接状況をまとめる。担当者による申込者の現状確認・面接を行う。半年毎に市内の居宅介 護支援事業所にGH対象者いないか連絡する。法人内各部署へも対象者の調査実施。年に一度市への待機者報告行う。 空所期間の削減。待機 常に待機者が3名以 計画 者の確保。入所検討会 管理者 ほの花 ほの花 ほの花 ほの花 上確保できている。 検討会 検討会 検討会 検討会 検討会 検討会 検討会 検討会 空所~10日以内で |に参加。定期的に申込||計画作成 収益の確保 書の確認を行う。 次の入所が出来る。 スムーズな入所 実施 No.2 へのシステム作 入院時、早期退院。 入院時、ご利用者様の状態をみつつ早期の退院を目指す(~2週間)家族、医療との話合いを入院後~定期的に行ってい 入院時目標期間での退院 計画 病院看護、Dr、ソーシャル が行えている。 く。ほの花に戻ってくる事が難しい場合は早期に転居先等について検討を行う。 ワーカーに出来る事の範囲 計画作成 転居等に関してもご家族 を伝え、早期退院の意向を とスムーズに話し合いを 実施 伝える。 行える。 重度化した入居者様のご家 転居、退去の説明・チェック項目の説明。 族様に転居の意向の確認を ケアプランの説明、ご本人 管理者 **|重度化、転居を勧める事が見込まれるご利用者様には前もってケアプラン説明時に様式を用いて説明を行う。** 行っていく。 の状態報告が行え、適時 計画作成 費用、ケアの面での説明を 記録等に残せている。 実施 行う。 3ヶ月毎にLIFE、アセスメントの入力を実施。 入居者の心身の状況 計画 LIFE関連加算の算 アセスメントの 見直し、入力 アセスメントの アヤスメントの LIFEの入力 等のアセスメントをとり 計画作成 アセスメントの No.3 見直し、入力 見直し、入力 見直し、入力 定ができる。 活用し算定できる。 実施 BCP **BCP** 管理者 計画 訓練 訓練 感染発生時、早期対 感染対策勉強会の実施 見直し 見直し 感染対策 応・拡大防止が出来 感染対策訓練の実施 担当ス No.4 BCPの見直し タッフ る。 実施 人員数、勤務調整を行う各職員の事情wo公平に有休の割り当てを行う。職員の異動等がある場合には変更。勤務職員の変動により、 ①業務の効率化を図り 計画 オペレーションの見直し変更する。年5日以上の有休消化。 有休の消化を行う。 年間5日以上の有休消 管理者 定期的にオペレーショ 化が出来る。 実施 ンを見直す。 働きやすい職場 No.5 環境の整備 なでしこ なでしこ なでしこ なでしこ 計画 椿ユニット 椿ユニットスタッフ、リーダーが 椿ユニット 椿ユニット 春ユニット ②3ヶ月に一度管理者が各 ユニット ユニット ユニット ユニット ユニット スタッフと面談機会を設け 準備を行い、スムー リーダー る。 実施 ズに面談を行える。

部門(事業所名): ほの花 NO. 2

Mil 3 (3 - 5)	V/// 147 ·	10.10																	
事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
			災害時に備えた訓練の	ユニット	計画	年2回、防	が訓練を写	実施し訓練	の振り返り	を行う。									職員の2/3が訓練に参
No.6		防災対策	実施。設備強化。 実用性のある訓練の実 施。	リーダー 防火管理				防災訓練 計画作成	防災訓練	BCP 見直し				防災訓練 計画作成	防災訓練	BCP 見直し			加でき、各職員が必要な知識、対応方法を実施・振り返りを通して理
			BCPの見直し。	者	実施														解出来でいる。
No.7		運営推進会議の 実施	2か月に1回開催。	管理者 運進担当	計画	開催		開催		開催			開催		開催		開催		家族、地域に情報の伝達
140.7		実施	28・7月で「四所性。	者	実施														や活動の報告が行える。
No.8			法定研修をミーティング	全スタッ	計画	虐待防止 コンプライアンス	感染症	ケアプラン	認知症	身体拘束			認知症	感染症	緊急時の 対応	ターミナル	認知症	身体拘束	必要な基礎知識を学びケ
140.0		の向上	時に行う。	フ	実施														アに活かす事ができる。
			①外出行事の計画、実 施。	行事担当	計画	花見		菖蒲見物					祭り見物	紅葉狩り		初詣	梅見物		所定月に外出行事の計画、実施、評価が行え
		アクティビティプ	案が出た場合には別途 計画。	17争担ヨ	実施														回、実施、評価が打えている。
No.9		ログラムの充実	②全体行事、ユニット	行事担当	計画	花見	ドライブ		夏祭り	花火大会	敬老会		運動会	文化祭	餅つき 忘年会				各ユニット行事作成担 当者、希望者が行事の
			行事の実施。	17争担ヨ	実施														実施を行っている。
			①生産性向上委員会	管理者	計画	毎月のミー	ティング内で	で実施。				_							業務の効率化により生産
No.10		質の高い介護	の設置	8-2-0	実施												<u> </u>		性の向上。
		サービスの提供	②ご家族へのケアブラン説明、生活の様子の	全員	計画		ノ更新月に には管理者			絡し、説明	日の日程語	調整。希望	の聴取、質	問を担当す	者がご家族 -	から確認し	てみる。村	食討事案等	更新月ご家族への連絡が行えている。 - 面談時等に説明を行った担当者への
			報告を担当職員が行 う。		実施														フィードバック、振り返りを行えている。
		16-ra-mid-a-4	定期的に点検を行い、	-m 14 +6 ···	計画	半年に1		外の点検:	実施。改 ————	善が必要	をな場合、	. 修繕方:	法等検討		間計画を 	立て実施	色。 		施設環境を良い状態で
No.11		施設環境の整 備・管理	ついて対応する。	環境整備 担当			点検							点検					維持できる。 計画的に環境整備が出
			別途修繕計画の作成。		実施														来る。

部門(事業所名): ひまわり乳児園

1	HP1 1/7-7	(//I H / .	ひ. ひイングチロンに 四日																	110. 1
大田 1 1 1 1 1 1 1 1 1			取組み事項	取り組み内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
おかみ様や口部で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で作品で					全職員		<	I	l	I		l	I					l	>	子どもの月齢に合った 発達段階を見極めて保
1 日本経典者の方とつミューター・コンを取る 一				7.0		実施														
1 日本の作成、またそれに 全職日 東流 選案・日 全職日 東流 選案・日 全職日 東流 選案・日 全職日 東流 選案・日 日本の作成、またそれに 沿った場 全職日 東施 日本の作成、またそれに 全職日 東施 日本の 日本の作成、またそれに 全職日 東施 日本の 日本の作成、東施 東施 日本の					ᄼᄥᄝ	計画	<													保護者との密なやり とりで子育てについ
2 一					王柳貝	実施														て話しやすい環境作 りをする
1 一					↑ ₩ □	計画										•				保育所保育指針に
日本の 日本					全 職貝	実施														沿った保育ができる ようになる
提供 の個別の支援			質の高い保育の	排泄状況による排泄	A 7541 E	計画	<	l	l	l			l	1	1					保育所保育指針に
議師を決め勉強会をする 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実	1		提供	の個別の支援	全職員	実施														沿った保育ができる ようになる
実施 対						計画		ı	1			ı	I		1		1	1		
を通して保護者間の 交流を持つ					全職員	実施														専門性を高める
全地域 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大				親子遠足、参観日など		計画	入園式	遠足		参観日	市民プール	,		運動会		クリスマス会	<u> </u>	遠足	卒園式	保護者同士の情報
2 専門性の追求 実施 (こついてらう) 3 事故防止 感染予防 全職員 大村リアップ講習会 の参加 を職員 の参加 全職員 実施 日本財産・日本財産・日本財産・日本財産・日本財産・日本財産・日本財産・日本財産・					全職員	実施														交換の場の提供
日本					唐 瀬	計画		l	ı	l		ı	l		1					保育園の保育内容
2 専門性の追求 合理						実施														について理解しても らう
2 専門性の追求 主報員 実施						計画		ļ	!	ļ		!	ļ				-	!	-	専門性を高める 国 の動向を注視し、認定
2 専門性の追求 保育協議会等の研修の参加 全職員実施 3 事故防止感染予防 よれ、BCP作成、講習会の参加 全職員実施 4 ニャリハットの作成、感染症(コロナ)・予防についての情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の情報共有、BCP作成の表別に保育の参加 5 適正収益の確保育の研修の参加 方 計画 方 計画 方 計画 方 計画				キャリアアップ講習参加	全職員	実施														こども園の理解も深め
本	2		専門性の追求 	- クログログ クログ クログ		計画		ļ						<u>. </u>	<u>. </u>	<u> </u>	<u> </u>		\rightarrow	保育の知識を深める
3 事故防止 感染予防 についての情報					全職員															他園の取り組みを知り 本園での保育に生かす
3 京成が正			車₩吐↓				<												- ;	ヒヤリハットから危険予
4 事故防止 感染予防 虚(コロナ)予防について の情報共有、BCP作成 全職員 実施 また	3		感染予防	共有、BCP作成、講習会	全職員															知し、保育中の事故を 防ぐ
4 事政防止 症(コロナ)予防について の情報共有、BCP作成 全職員 実施							<	l	<u> </u>	l		<u> </u>	l			<u> </u>	<u> </u>	1		ヒヤリハットから危険予
1	4		サロック	症(コロナ)予防について	全職員															知し、保育中の事故を
5				1月刊(八円、DOF11)以		美施														\ \
	5			制田人数を畑場する	磨蛹	計画	<													事業所枠、地域枠の人 数を把握し適正に運営
	J		保	137117人数と1011年する	/央//兴	実施														

部門(事業所名): ひまわり乳児園

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
6		安全確保	毎月避難訓練の実施	廣瀬	計画														災害が起きた時に冷静に行動できるよう
0		女王惟休		藤田	実施														にする
			新居浜市のメニューに 合わせ栄養バランス	調理員	計画														安全でバランスの取れ
			の取れた食事を提供 する	诇珄貝	実施														た食事の提供
7		₩.	離乳食から普通食へ	伊藤・り	計画	<													一人ひとりの離乳状況にあった食事を提供
'		給食	のスムーズな移行	す担任	実施														し、普通食へ移行する
			調理員のチェックリスト	伊藤	計画								•	•		•			食中毒を起こさず安全
			の徹底	1.7 歴	実施														安心な食事の提供
			大型固定湯具の点検	加藤	計画								•			•			ウムルボロマボジ
			人型回足湯具の点快 	加滕	実施														安全な遊具で遊ぶ
			職員会の前に草引き	全職員	実施														環境整備をし、自分の際場に受業を持たい。
			をする	王柳貝	実施														職場に愛着を持ち、心 も環境もきれいにする
8		環境整備	季節に合った花や野	全職員	計画	<													子どもと一緒に野菜を
°		垛 块定佣	菜を植える	土啾貝	実施														植え、食育につなげる
			砂場の消毒は毎週土	全職員	計画														安全な環境を作る
			曜日にする	土晀貝	実施														女主な環境を作る
			壁面は毎月季節に	全職員	計画	<u> </u>													子どもの製作を取り入 れ、保護者の方が成長
			合った物に変える	土	実施														と季節を楽しめるように する
9		保育拡充に向け	市の動向を見ながら 保育施設拡大へ向け	広瀬	計画	<u> </u>												>	公立保育園民営化を見 据えて動向を探りなが
9		て	て計画する	山山村	実施														ら必要な時期に判断す る
10		年二回健康診断	園児の健康管理	廣瀬	計画		0							0					在園児の健康管理の
		歯科検診実施	四元のほぼ日生	奥 <i>(</i> 积	実施			-											徹底

部門(事業所名): かんたき satoiro 令和7年度目標: 登録 15名 通い平均 9名 泊り平均 7名 NO.1

部門		名): かんた	ਣ satoiro	令和7年度	E 目標:	登録	15名	通い平均	9名	泊り平均	7名								NO.1
事業 計画 No.	単原日 標の連	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1			介護報酬改定に伴う	松木と 宮本	計画	算定可能な加	算の情報を類	集め、随時加算	を算定してい	८ .	•					次年度算定力	口算の見直し		取得可能な加算の見通
ı			加算の算定	村上	実施														- しがたち、算定が行え る。
•			並用登得老の 体児	松木と	計画			医療機関等へ第 1る各機関へ	営業を行う。 事業の正しい理	里解を得られる	ように伝達を	行う。				次年度目標(D再設定		- 各機関と円滑に連携を
2			新規登録者の確保	宮本 村上	実施														取れる。
٠			第四合社の実施	松木と	計画	各月毎に資金	に関しての扱	長り返りを行う。	半年毎に平均	支出の算出を	を行い、翌年度	にも活用出来	るデータを残す	۲.		次年度予算6	の算出		年間収支が黒字であ る。
3		安定的な運営	管理会計の実施	村上	実施														不明点のない支出表の 作成。
,		事業の黒字化	LICEの活用し答点	松木と	計画		アセスメント見直し 入力	•	•	アセスメント見直し 入力	•	•	•	アセスメント見直し 入力	•	•	アセスメント見直し 入力	•	各月見直しと入力が出
4			LIFEの活用と算定	宮本 村上	実施														- 来ている。 漏れなく算定が出来る。
			適正な人件費率のコ	松木と	計画	①余剰分の人	、件費をコント	ロールするたと	・ め、他部署応援	! の仕組を整え	i a		ļ			次年度人件到	貴の算出	ļ.	人権比率65~70%での 運営が出来る。
5			ントロール	宮本 村上	実施														適正な労働時間で、業 務が行えている。
			サ高住併用利用者の	松木と	計画	サ高住稼働	併用利用者 登録2名	併用利用者 登録2名	併用利用者 登録3名	併用利用者 登録3名	併用利用者 登録3名	併用利用者 登録4名	併用利用者 登録4名	併用利用者 登録4名	併用利用者 登録4名	併用利用者 登録5名	併用利用者 登録5名	併用利用者 登録6名	サ高住の稼働
6			確保	宮本 村上	実施														併用利用者6名
				松木と	計画	夜勤可能者 2名	夜勤可能者 2名	夜勤可能者 3名	を勤可能者 3名	夜勤可能者 4名	夜勤可能者 4名	夜勤可能者 4名	を勤可能者 5名	を勤可能者 5名	を勤可能者 6名	を勤可能者 6名	夜勤可能者 6名	を勤可能者 6名	夜勤対応者が6名
7			夜勤者の確保	宮本 村上	実施														(松木と、村上を除く)
				松木と	計画	①毎月30分じ	J上の1on1実	施 ②拠点間	で連携できるこ	とを整理し目標	標化する		1				ı		課題と目標が具体化さ
8		働きやすい	チームワーク向上	宮本 村上	実施														れている
		環境の整備		松木と	計画	有休取得率7		- 得 ②有給が2		れている職員に	 よ、6月時点で	 半分以上残ら	ないように調素	<u>\$</u>		次年度目標耳	収得率の設定		
9			有休の消化	宮本 村上	実施			月11年唯 認							押化平唯 認				- 目標日数の消化。
				松木と	計画	随時、業務才	ペレーションの	D作成と評価、	より良い案の	検討。	1		1						随時検討を行える仕組
10			業務の効率化	宮本 村上	実施														み作りが行えている。
					計画	毎月1度ミーラ 法定研修をミ・	L ティング、勉強 ーティングで写	▲ 会の実施。各2 €施する。	スタッフに役割	の分担を行い	、汎用性のあ	るチームミーテ	イングの方法の	の検討と実施を	行う。	ı		ı	
11			ミーティングの実施 職員のスキル向上	全員	計画	++- ·m	ハラスメント (松木)	拘束 (村上)	緊急時(宮本)	認知症(三谷)	非常災害		事故防止	倫理法令尊守 (村上)					役割を加味した各月の ミーティングが実施出来
		質の高い サービスの提	1225		実施														ている。
		供	生産性向上委員会の		計画				<u>┃</u> の為の内容を♪ この順で言語化			質に基づいた	_ :業務の検討を	 :行う。	<u> </u>		1		生産性向上に関しての 内容が盛り込まれた会
12			設置と実用	全員	実施		15 (E) / /I	2 @ 7671.011	/mx C	- 一八四郎成で									
									1		1		1				[1	

部門(事業所名): かんたき satoiro NO.2

MPI J	(TAI)	11). N'/VIC	C outon's																NO.2
事業 計画 No.	単点日との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
13			介護保険法、制度の	全員	計画	3か月に1度、 今年度はサ高	知識向上の為 第住と訪問看護	るの勉強会の9 きについて	尾行。 所属スタ	ッフそれぞれた	が複合型事業の	り特色や取り着	巻く物について	理解する。					6,9,12,3月に勉強会の
13		質の高いサー	理解と順応した活用	工具	実施														実施が行えている。
14		ビスの提供	利用者、家族との	全員	計画	8月運営推進 ご家族も含め	会議の際に現 、現状の課題	在実施してい や発案等話し	る方法の評価 合う機会を設り	と振り返りを実 ける。	施する。								運進後にご家族を含め た検討会が行えてい
14			連絡方法の確立	土共	実施														る。
			避難訓練計画の立案		計画		計画 実施							計画 実施					年2回避難訓練が
15		防災対策	年二回の実施		実施														出来ている。
10		防火刈束	BCPの作成と更新		計画	年度初めにB ミーティング内	BCPの策定、乳 内での協議を行	と と動を考慮し名 でする。	↑項目のブラッ	シュアップを行	う。						•		BCPの作成が出来
			BCPの作成と更新		実施														ている。
16		運営推進会議	呼びかけを行い、2か 月に1度運営推進会議		計画	実施		実施		実施			実施		実施		実施		年間6回運営推進会 議が実施されてい
10		の実施	月に 浸運呂推進会議 を実施する		実施														る。
17		環境整備	設備に関して修繕を行		計画	各所修繕筐	箇所等の確	認。4月まで	に修繕必要	要箇所リスト	の作成、適識	選メンテナン	ノスを行う。	•	•	•	•		各箇所のメンテナンス が定期的に行われて
' /			う		実施														いる。依頼先が明瞭に なっている。